

消防本部からのお知らせ

普通救命講習会開催

- 【日時】 9月11日（日） 午前9時～正午
 ※受け付けは、午前8時30分から
- 【場所】 迫公民館
- 【募集人員】 30人（定員になり次第締め切ります）
- 【内容】 普通救命講習Ⅰ（観察要領、心肺蘇生法、AED（自動体外除細動器）使用法）
- 【申込方法】 電話、FAXまたはEメールで申し込みください。
 ※氏名、生年月日、町名を明記
- 【受講料】 無料
- 【申込期限】 9月8日（木）
- 【申込先・問い合わせ】 消防本部救急救助課
 ☎0220（22）0119
 FAX0220（22）4699
 ✉kyukyukyujou@city.tome.miyagi.jp



救急の連鎖

傷病者を助けるためには、スムーズな連携プレーが欠かせません。

- ①早い119番通報
- ②早い応急手当
- ③早い救急処置
- ④早い医療処置

私たちは、いつ、どこで突然のけがや病気におそわれるかわかりません。家庭や職場で家族や友人が倒れたときなど、「早い119番通報」「早い応急手当」が重要となります。市では、救急車が到着するまでの時間に、傷病者に対して適切な応急手当が行えるよう、「心肺蘇生法」を中心とした普通救命講習会を開催します。

適切な処置をすることで、救命率向上につながります。

「助かるはずの命」を救うため、応急手当に関する知識、技術を身に付けましょう。



「助かるはずの命」を救うため
 あなたも覚えてみませんか



引揚救助訓練を行う隊員

※引揚救助：5人1組で、2人が空気呼吸器を着装して搭上から下り、検索後要救助者を抱きかかえながら救出。搭上の3人と協力して引き揚げ、救助および脱出するまでの安全・確実性と所要時間で評価されます。

7月5日、宮城県消防学校を会場に第30回宮城県消防救助技術指導会が開催されました。

市消防本部からは、引揚救助の部とほふく救出の部に出場。日ごろの訓練成果を発揮し、2種目とも入賞。引揚救助の部については、7月14日に同会場で開催された東北地区消防救助技術指導会に宮城県代表として

出場し、見事入賞を果たしています。

□引揚救助隊員

千葉 友和（消防副士長）
 遊佐 晃（消防副士長）
 袋 岳人（消防士）
 三浦 徹（消防士）
 高木 勇樹（消防士）
 □ほふく救出隊員

千葉 亮一（消防士）
 千葉 久信（消防士）
 秋山 幸穂（消防士）

東北地区消防救助技術指導会に
 宮城県代表で出場

障害者就業相談を行います

◇相談日時

	午前 (10時~正午)	午後 (2時~4時)
8月30日(火)	東和総合支所	登米保健福祉 事務所
9月27日(火)	石越総合支所	
10月25日(火)	津山総合支所	
11月22日(火)	登米総合支所	豊里総合支所
12月20日(火)	中田総合支所	登米保健福祉 事務所
平成18年 1月24日(火)	迫総合支所	
2月28日(火)	南方総合支所	
3月28日(火)	米山総合支所	
【相談人数】 午前、午後とも4人まで 【相談時間】 1人1時間 ※相談には予約が必要です。		

◇**対象者**
身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者手帳をお持ちの方で
・働きたいという希望を持っている方
・自分はどんな仕事に合っているのか相談したい方
・仕事が見つかるまでの間、仕事の訓練をしたい方

◇**相談実施機関**
県北地域福祉サービスセンター、障害者就業・生活支援センターの職員が、2人1組で相談に応じます。

◇**予約・申し込み**
・お住まいの総合支所市民福祉課にある申込用紙、相談票に記入して、相談日の1週間前までに申し込みください（事前に予約が必要です）。
・1日の相談人数は8人までです。次回に回っていたり、場合によっては、別の相談機関に紹介させていただきます。あらかじめご了承ください。

・相談時間については、受け付け後に福祉事務所から連絡します。
※この相談会は具体的な仕事のあっせんではなく、就業に関する問題を解決するための相談会です。

【問い合わせ】
福祉事務所社会福祉課障害福祉係
☎0220(58)5551

◇身体障害者相談員

(敬称略)

氏名	地区	電話番号	氏名	地区	電話番号
千葉 俊 雄	迫	0220 (22) 5669	小野寺 宗 治	中 田	0220 (34) 2969
小梁川 博	迫	0220 (22) 3795	蜂 谷 英次郎	豊 里	0225 (76) 1414
田 口 浩 子	迫	0220 (22) 8346	後 藤 良 一	米 山	0220 (55) 1942
山 村 俊 次	迫	0220 (28) 2604	佐 々 木 信 子	米 山	0220 (55) 2836
西 條 忠 和	登 米	0220 (52) 2739	金 正	石 越	0228 (34) 3313
佐 藤 星 子	東 和	0220 (42) 3452	小 野 正 一	南 方	0220 (58) 4558
山 田 紀 子	東 和	0220 (44) 3077	門 田 尚	南 方	0220 (58) 4841
二階堂 勲	中 田	0220 (34) 4585	黒 沢 一 郎	南 方	0220 (58) 4611
佐 藤 壽 夫	中 田	0220 (34) 2443	及 川 俊 彦	津 山	0225 (68) 3001

身体障害者相談員18人が決まりました

市では、次の方々を身体障害者相談員に委嘱しました。身体に障害のある方々から困っていることなどについての相談を受けることが主な仕事です。秘密は守られますので、お気軽にご相談ください。



夏の飲み物 水分補給に気をつけよう!



夏は汗が多く出て体の水分が奪われます。熱中症になりやすく、水分補給が大切になります。特に子どもたちは、大人より多くの水分を必要とします。ただし、糖分の多い清涼飲料水やスポーツドリンクなどは、発熱、下痢、脱水などの場合を除き、飲みすぎに注意してください。普段は麦茶や湯冷まし、水などの糖分がないものを中心に水分補給を心掛けましょう。

◇甘い飲み物を飲みすぎるとなぜいけないの？

- ◇甘い飲み物を飲みすぎると、食欲を失い、おかずを食べる量が減り体に必要な栄養が不足してしまいます。
- ◇乳児期から幼児期にかけての味覚の形成期には、強い甘味に慣れると、味覚の発達に影響がでてくる可能性があります。
- ◇甘い飲み物には糖分が多く含まれているため、むし歯になりやすい環境をつくることになります。
- ◇糖分の取りすぎは、肥満や生活習慣病になる原因のひとつです。

◇飲みすぎない3つのポイント

1. 常備しない
2. 食事の前に飲まない
3. 水がわりにしない



日本脳炎予防接種3期が廃止になりました

7月29日から、日本脳炎予防接種3期（14歳以上16歳未満の方）が廃止になりました。

1期（6カ月以上90カ月未満の方）・2期（9歳以上13歳未満の方）については、引き続き、例外を除いて中止が望ましいことになっています。

※例外とは、流行地へ渡航する場合や蚊に刺されやすい環境にある場合など、日本脳炎に感染する恐れが高く、本人または保護者が希望する場合となっています。

腕に磨きかけた作品づくり 第1回つやま陶芸塾開催

7月15日から8月28日まで、津山町大萱沢陶芸生産施設を会場に、第1回つやま陶芸塾が開催されました。

一人ひとり丁寧な指導を受けながら、湯のみや花瓶など思い思いの作品を作っていました。



第2回つやま陶芸塾受講生募集

津山町大萱沢の陶芸生産施設を会場に「第2回つやま陶芸塾」を開講します。

【期間】 9月23日（金）～11月13日（日）のうち20日間

【時間】 ①午前10時～正午 ②午後2時～4時
 ③午後6時～8時

【場所】 津山町横山「大萱沢陶芸生産施設」

☎0225 (69) 2340

【講師】 陶芸家 井上 哲治氏

【受講料】 使用粘土1キログラム
 市内在住者・・・1,000円
 市外在住者・・・1,500円

【申し込み・問い合わせ】

津山総合支所総務課地域振興係
 ☎0225 (68) 3112



献血にご協力ください

【日時】 9月1日（木）午後2時30分～4時

【場所】 東和総合支所

【問い合わせ】 市民生活部健康推進課

☎0220 (58) 2116

- 6ページ円グラフ右下（誤）自動車所得税交付金（正）自動車取得税交付金
- 7ページ円グラフ左上（誤）公債費54億1756万円の記載がありませんでした。
- 12ページ男子四種競技（誤）第一位Ⅱ大渡邊健太（正）第一位Ⅱ渡邊健太
- 20ページ文芸コーナー（誤）佐々木せい子（米山）（正）佐々木せい子（迫）

広報とめ8月号に誤りがありませんでしたので、お詫びして訂正いたします。